THE GLOBAL ADVISORY AND ACCOUNTING NETWORK

ESネクスト有限責任監査法人
ES Next LLC

ESネクスト有限責任監査法人は

グローバルネットワーク HLB の一員として生まれ変わります。

法人概要

法人名	ESネクスト有限責任監査法人
英文名	ES Next LLC
理事長	鈴木　真一郎
設　立	2020年7月1日
所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目1番1号 大成大手町ビル9F
人員数	理事パートナー：9名 パートナー：26名 公認会計士：34名 公認会計士試験合格者：93名 その他：29名 合計191名　（2026年4月1日現在）

【 ESネクスト WEBサイト 】



コーポレートサイト



リクルートサイト

【 X 】



公式リクルート　X



ESNひよちゃん　X

【 公認会計士YouTubeくろいちゃんねる 】



【修了考査全員合格】ESネクスト有限責任監査法人で新人が圧倒的な成長をする理由



新人女性公認会計士(合格者)と巡る!
ESネクスト新オフィスツアー

ES Next Career Guide 2026

THE GLOBAL ADVISORY AND ACCOUNTING NETWORK

ESネクスト有限責任監査法人
ES Next LLC

Message

【ESネクスト理事長メッセージ】

次世代『Next』の経営者『Entrepreneur』をサポート『Support』する



理事長 パートナー

鈴木 真一郎

Shinichiro Suzuki

『個人個人が情熱を持ち、前向きに成長し、本気で、日本の未来を支える』

私達は、次世代『Next』の経営者『Entrepreneur』をサポート『Support』するとの法人ミッションを名前に冠した、完全にミッションドリブンの監査法人です。IPOそしてIPO後も成長する企業の社会インフラとなることを目指しています。そして、当法人のクライアントのビジネスは、フィンテックをはじめ物流、不動産、建設、教育等の既存事業×テクノロジー、フェムテック、メディカル、ヘルスケア、デジタルマーケティング、メディア、DXコンサル、動画AR・VR、AI・IOT、HRテック、カーボンニュートラル、Web3.0、宇宙ビジネス等の新しいビジネスやテクノロジーが中心になります。若い経営者・経営陣がリードする成長著しい新ビジネス等に対峙する構成員は、情熱を持ち、前向きで監査人としてのより早い成長を目指しています。パートナーを中心に、早い成長を希求する構成員全員に対して、情熱をもって指導する組織文化を醸成しています。2026年7月には創立6周年を迎え、36名のパートナーを含めて、約200名近い構成員の監査法人となりました。そして、早い成長を達成し、29歳の新パートナーも誕生しています。

『AI環境下で企業のオーガニックな事業の成長からM&Aのロールアップによる成長をサポート』

日常的な新技術とイノベーションサイクルの加速に加えて、生成AIのブレイクスルーもあり、AI・デジタルの進化が驚異的なスピードで進んでおり、成長する企業にとっても監査法人にとっても、生成AIを含むAI/DX戦略的推進の重要性は益々高まっています。IPO後も成長がより求められる環境で、オーガニックな事業の成長だけではなく、M&Aのロールアップによる成長を志向する会社は増加しています。監査法人内に、FAAS（財務会計アドバイザリー）グループを新設したことに加え、トランザクションサービスを中心としたESネクストアドバイザリー株式会社も設立し、多様なニーズにお応えしています。

また、成長を志向する会社はグローバル展開を始めています。ESネクストは、2026年7月1日付で、会計及びアドバイザリー世界9位のグローバルネットワークであるHLBに加盟しました。HLBは155か国（1,398事務所）にわたる58,538人の専門家の力を通じて、国境を越えたクライアントの成長を支援しています。HLBコミットメントである 『Innovative People, Brighter Futures』（「革新的な人々、明るい未来」）の実現を目指し、HLBグループの一員として成長企業の社会インフラとなることを目指しています。HLBに加盟後は、ESネクスト有限責任監査法人、ESネクスト税理士法人、ESネクストアドバイザリー株式会社からなるESネクストグループとして多様なニーズにお答えします。



日本ベンチャーキャピタル協会より、スタートアップ業界への貢献が評価されました。

Q 受験生に一言!

『過去にないスピードで成長をスタートした監査法人で、日本の未来を支える成長企業を支援し、多様な業務を経験し、類を見ないスピードで成長する会計士になろう。』



ESネクストってどんな法人？

若手社員とオフィスツアーにLet's Go!



Point. 01



「IPO監査難民」という社会課題解決を目的として誕生しました!

詳しくは P1~2 P7~8へ!

ESネクストは2020年7月に設立されたIPO監査をメインとする監査法人です!
様々なバックグラウンドを持つ経験豊富なパートナーが多数集結しています!





Point. 02



次世代(Next)の経営者(Entrepreneur)をSupportします!

詳しくは P5~6へ!

ESネクストは『次世代を担う経営者とともに、社会のイノベーションをリードする』というビジョンを掲げています!
新進気鋭の企業、ひいては日本経済の未来を、監査・アドバイザリーという側面から支えていきます!

Point. 03



監査以外にも、グローバル業務・IFRS・アドバイザリーサービスを経験できる機会があります!

詳しくは P17~18へ!

ES ネクストは、2026 年 7 月 1 日付けで、グローバルネットワーク HLB に加盟するとともに、「ES ネクストアドバイザリー株式会社」を設立しました。





Point. 04

ESネクストには成長できる環境があります!

詳しくは P9~16 P27~28 etc.

ESネクストはパートナーや先輩スタッフとの距離が非常に近く、気軽にコミュニケーションをとることができます!
また、1年目から幅広い業務に触れることができるのも大きな魅力です!





Business Model

【 クライアントの主なビジネスモデル 】

成長ステージにある
様々な業種のクライアントや
業界の最先端を走るクライアントに
関与することができる!!



フィンテック

金融×テクノロジーで、新しい金融サービスを生み出す会社に関与しています!









アグリテック

農業×テクノロジーで、日本の農業の未来を明るくする会社に関与しています!







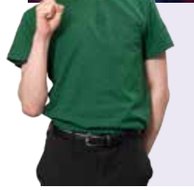












ゲーム

最先端のARやVRといった技術を使ったゲーム会社に関与しています!



ヘルスケア

最新のテクノロジーを使用して人々の健康を増進する会社に関与しています!







アパレル(Eコマース)

テクノロジーの利用により、独自のビジネスモデルで成長しているアパレル企業に関与しています!

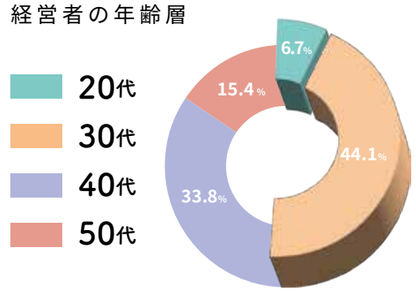


1年目から経営者ディスカッションにも携われます!
経営者は情熱を持った方が多く、日々刺激を貰っています。

スタートアップの経営者には若い方も多くいらっしゃいます!



経営者の年齢層



History

【 ESネクストの歴史 】



2020

- ESネクスト監査法人設立

  9名の創業メンバーにより
  シェアオフィスの
  一画からスタート

ESネクスト監査法人

2022

- ESネクスト有限責任監査法人への移行
- 大手町野村ビル9階へオフィスを移転
  （現 大成大手町ビル）



ESネクスト有限責任監査法人

- 1期生が入社



2023

- 初のIPO達成
- 1回目のオフィス増床

IPO 達成!

設立後3年の月日を経て、
初めてクライアントの上場に
立ち会うことができました!







ESネクストの理念に共感した
メンバーが次々に入社し、
法人とともに大きく成長しています!

メンバーも
191名に
増えました!

IPO 達成会社 3社

IPO 達成会社 4社

IPO 達成会社 2社
（7月現在）

2024

- 社外ガバナンス委員3名在職



- 2回目のオフィス増床



2026

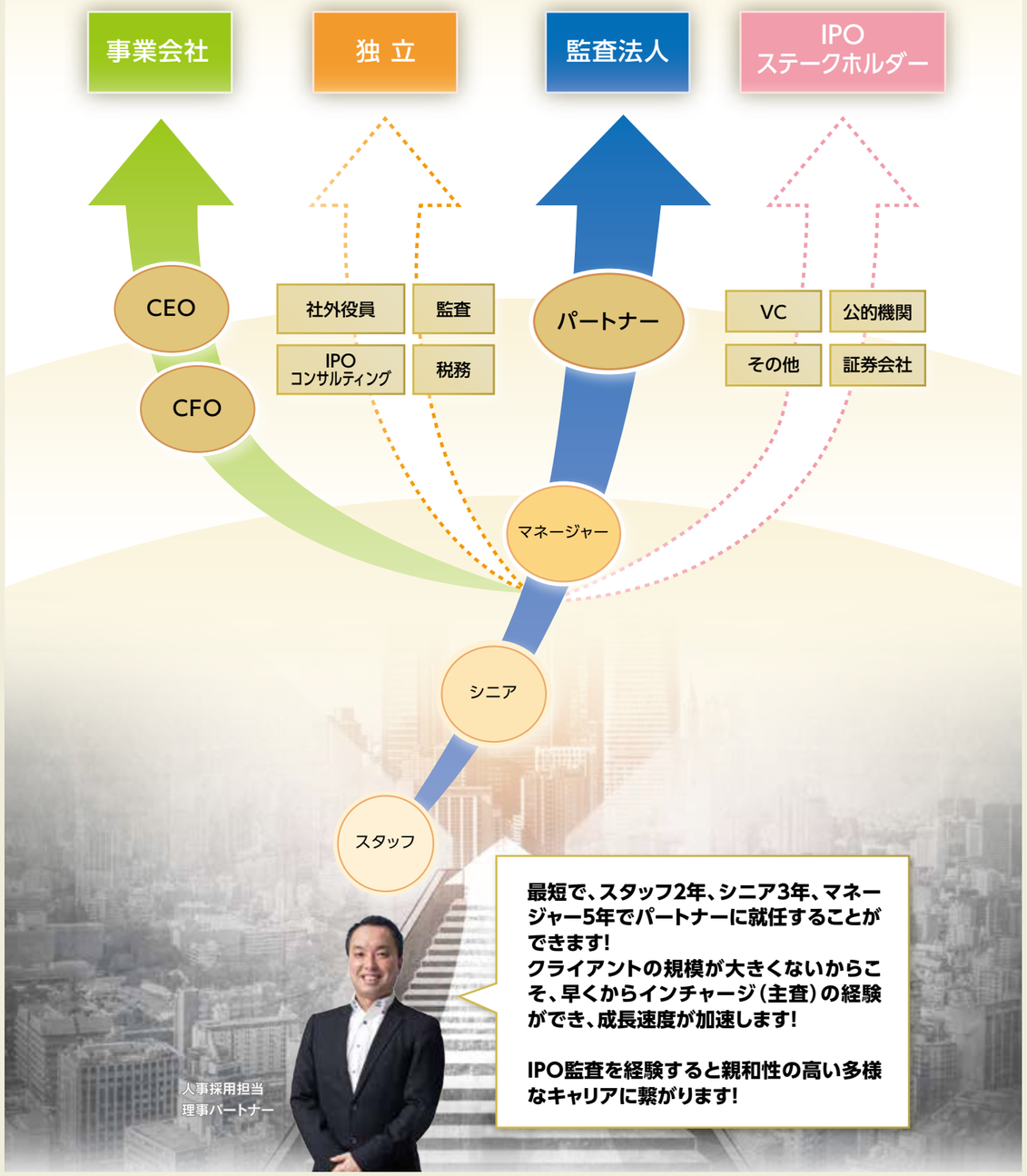
- 7月からHLBグローバルネットワークに加入
  ESネクストアドバイザリー株式会社を設立

HLB THE GLOBAL ADVISORY AND ACCOUNTING NETWORK



IPO CareerMap

【 IPOキャリアマップ 】



ESネクストには、様々なキャリアを経験したパートナーが多数在籍しています!
興味のあるキャリアの話を、実際に経験してきたパートナーに気軽に聞くことができます!

CFO

監査法人卒業後、上場企業の取締役CFOとして、事業会社の経営管理部門を管掌しました。

CFOは、会社経営をヒト・モノ・カネ・情報全ての目線から俯瞰しコントロールできる、大きな権限と責任を有するポジションであるため、とてもやりがいがあります!



スタートアップであれば、若くてもCFOに就任する機会があります!

独立・社外役員

監査法人卒業後、独立会計士として、社外役員・ファウンダー・コンサルの立場から多数のスタートアップの経営支援を行いました。



スタートアップの規模だからこそ、若いうちから経営者の相談相手として会社の意思決定に関与することができ、感謝されること、会社の成長を体感できることが大きなやりがいです!

組織のone of themではなく、only oneとして個人にフォーカスされることも大きいです!

コンサル

監査法人卒業後、コンサルティングファームに転職し、多数の企業のIPO実現にコンサルとして関与しました。

IPOを目指す企業の経営者は非常にエネルギッシュで魅力的な方が多いです。そのような経営者と同じ目線で、自分のやっていることが感謝される、エネルギーをもらえることが大きなやりがいにつながります!



頑張れば
頑張るほど
喜ばれます!

パートナー

監査法人在籍中、2人の子供の出産・育児を経験しています。

監査法人在籍中に産休や育休を経て、一度独立開業しました。その後、監査法人という組織に戻ろうと思ったのは、ESネクストのミッションへの共感と、子育てと両立していく不安や大変さより、仕事をすることの達成感や、社会に必要とされているという実感が大きかったからです!



ESネクストではクライアントの決算期があまり重ならないので、両立しやすいです!

金融庁

CPAAOBでは、監査法人の検査に従事しました。今まで監査法人の中だけで監査をしていましたが、社会から求められている「監査」がどのようなものか、今後どうしていかなければならないのか、という視点で監査品質を身に着けられたのが良かったです!



監査法人在籍中、金融庁公認会計士・監査審査会（CPAAOB）に2年間出向しました。

若く成長余地のあるESネクストで、CPAAOBの経験を役立てたいと思い、全社視点で監査品質を高めていきます!

Interview

【パートナー対談①】

多様なキャリアとIPO監査

～社外役員、CFO、コンサル経験者から見た会計士キャリアの可能性～



Q. それぞれの道に進んだきっかけは何ですか?

藤岡：〇〇監査法人の藤岡ではなく、会計士の藤岡として成果を残したいと思っていました。いきなりは難しいので、監査法人でしばらく修行をして、その中で知識や経験、人的ネットワークを積み重ねながら、やりたいことが実現できると思えたタイミングで独立を決意しました。

鯛　：　大学卒業後、会計士として大手監査法人でキャリアをスタートし、監査業務を10年ほどやりました。そのような中、知人より連絡があり、その知人のいる会社の取締役CFOにならないかと言われたことがきっかけです。私は実家が自営業で、昔から経営というものを身近に感じていたこともあり、事業会社で、かつ裁量権ある立場でチャレンジしたい気持ちが大きくなり、転職を決断しました。

梅津：コンサルに進もうとしていた当時は、CFOになりたいと思っていましたが、大手監査法人での5年半の大企業中心の監査経験のみでは、CFOとして活躍していける自信・イメージが全く浮かばず、、、足りない知識・経験を補うために武者修行する気持ちでコンサルへの転職を決めました。会社として勢いのある成長企業に関われる点に魅力を感じ、IPOコンサルを選択しました。

Q. それぞれの職種で求められる資質・能力はどのようなものですか?

鯛：CFOといっても様々なスタイルの方々がいらっしゃるので一概には言えませんが、私は会社の状況変化に応じて柔軟に対応できる能力を備えておくことが特に重要ではないかと考えています。内外の環境は変化し続けるため、例えば、今日正解だと考えて起こしたアクションが、1ヵ月後には正解ではなくなっている可能性もあります。経営はこのようなことが連続で起こり続けます。大事なこととしては、常に様々な情報に触れ続け、仮説設計の上、その時点で最善と考えられる選択肢を選び続けること。そしてアクション実行後は仮説検証を経て、また選択肢を考える、といった具合ですね。
そしてやはり組織なので、ヒトに関する戦略・戦術も適切に立案し実行できる能力も非常に重要です。組織はヒトで動いているので、個々人の能力や状況、雰囲気等も鑑みて配置し、チームとしてパフォーマンスを発揮できるように組み立てる必要があります。これは人心という数値には表せない領域もあり、私も大変苦労しました。

藤岡　：　CEOやCFOの相談相手になるのもコンサルの役割だと思うけど、そこで求められる資質は?

梅津　：　やっぱり当事者意識じゃないですかね。コンサルはどこまで行ってもクライアント内部にはなれないですけど、内部の方以上に自分事で考えて関わっていくことが大事だと思います。その分、自身に負担はかかってしまいますけど、一歩踏み込んでやるのは大事ですね。当時はCFOからの信頼を得ることはもちろんのこと、社長・CEOといった意思決定権者と直接コミュニケーションを取れるポジションも意識して案件に臨んでいました。あとは、コンサルに限らずですが、案件においてはスタートダッシュを大切にしていて、最初に良い印象を持ってもらうことで、スムーズに案件を進めていけるようにすることも意識していました。

藤岡　：　懐に飛び込むことやスタートダッシュは独立でもとても大事ですね。まずは経営者に信用してもらうことが一番なので。信用してもらうにも色々な要素があって、単に知識や経験だけでなく、人として気に入られるというようなソフトスキルも必要だと思います。信用を得られるようになれば、経営者は横のつながりも強いので、目の前の仕事から別の仕事に繋がるという好循環が生まれてくる。

鯛：社外役員になる会社をみるときは何を意識していますか?

藤岡：事業内容はもちろんですが、経営者がどういった方なのかをよく見ています。長期目線で事業に取り組んでいて、事業を大きくしていくことを常に考えているような方と同じ船に乗って議論等するのは面白いですね。他には人を引き付ける力が強い人ですかね。そういう人たちに声をかけられたら断らないようにして、それが結果、上場につながっているという感じです。

梅津：藤岡さんの思う、人を引き付ける力が強い人はどんな人ですか?

藤岡：天才肌とかカリスマ性とか、色々な表現の仕方があると思いますけれども、この人と一緒に仕事をするのは面白そう、楽しそうって思わせる人じゃないでしょうか。理事長の鈴木さんもそういうタイプかもしれない笑。

Q. ファーストキャリアをESネクストにするメリットはどんなところにあると思いますか?

梅津　：　IPOコンサルスキルの吸収・定着との親和性でいうと、ESネクストの監査環境はうってつけだと思います。コンサルは、課題に対して適切なソリューションを提供して、その改善を図っていく仕事なので、まさに改善課題溢れる状態のIPO準備企業を相手に、監査を通じて指導的機能を多分に発揮できるIPO監査は、コンサルカを高める経験機会にとても恵まれていると感じます。上場会社は、IPO時に厳しい審査を通過しており、一通りの内部管理体制が整っている状態なので、上場会社監査では、何もできていなかった状態からどのように会社の内部管理体制が整えられていったかの過程を直接見ることはできない一方で、IPO監査ではこの過程を臨場感持って味わえる点も親和性を感じる理由のひとつです。

藤岡：独立という観点でもESネクストで働くことは同じメリットがあると思います。独立した直後で、大企業から直接仕事を受けることは非常に稀で、基本はリソースやケイパビリティが足りていない中小・スタートアップから依頼を受けることがほとんどだと思います。ESネクストはそういったクライアントがほとんどなので、そうした会社をたくさん見ておくことで、経験も積めるし、人的ネットワークができると思います。特に最近思うのは、ESネクストメンバーの繋がりは将来独立等を考えた場合に非常に大きな財産になり得るということ。スタートアップやIPO監査に興味がある人がこの法人に集まっているので、その輪に入っておくことは間違いなく将来の可能性を広げることにつながると確信しています。

鯛　：　ESネクストは監査法人なので、監査の知識・経験が身に付くことは当然ですが、早期に経営というものに触れられるのが最大のメリットだと考えています。具体的には、まず法人内に様々なバックグラウンドのパートナーが在籍しており、私も含めて事業会社出身の方々が複数人います。事務所内は風通し良く、気軽に経営や事業の話をすることができます。また、ESネクストのクライアントは最新のビジネスを取り扱っているケースが多く、かつ若い年次から経営層と会話ができる機会も豊富にあります。こういった機会に触れれば触れるほど、自身の経営に対する軸が自然に醸成されますし、藤岡さんも仰っているように人的ネットワークも構築されていきますので、将来いざ職業を事業会社にシフトする際にも必ず役立ちます。CFOキャリアの私の意見としては、この環境に早く飛び込んだ方が有益であることは間違いないですね。

Interview

【パートナー対談②】

多様なキャリアとIPO監査

～IPO監査における家庭と仕事の両立、監査品質について～



Q. 監査業界は忙しいイメージがありますが、お二人はキャリアと子育てをどのように両立されてきましたか?

志村：会計士の仕事は、お客さんの話を聞くところから始まる仕事だと思っていますが、家族や職場のチームでも話をすることが重要だと思っています。子育てをしていると、急な体調変化などで想定通りに動けない時があったりします。そんな時には、なるべく早く家族にお願いするとか、どうしても仕事を代わってもらわないといけない場合にはスムーズに引き継げるようにしておくなど、バックアップを持つことを意識しています。家族や職場の方々のそのような協力があったからこそ、子育ても仕事も頑張ってこられたと思っています。

真鍋：私も同感です。家族や職場の方の協力あってこそだと感じますね。

Q. 子育てをする上で、ESネクストの環境についてはどうお考えでしょうか?

志村：ESネクストのパートナーは子育て世代の人たちが多いので、子どもの発熱とか突発的なことも含めて共感してもらえるし、ヘルプを出しやすいですね。孤独に頑張らなくても良いんだなとすごく感じます。

真鍋：そうですね。仕事はいいから早く帰れと言われるくらいです（笑）。あとESネクストはIPO監査メインの法人で、決算期があまり重ならず繁忙期という概念があまりなく、大手で働いていた時より平準化されているイメージですね。

志村：どこかの月で業務過多になることがなく、常に同じようなスケジュール感で働けているのはIPO監査に特化したESネクストの良さかもしれませんね。　ただESネクストもまだ設立4年目の法人で、今以上に働きやすい環境をこれからつくっていけると思うので、職員の声をもっと取り入れていきたいと思っています。

Q. お二人は、IPO監査における品質管理について、どのように考えていますか。

真鍋：ESネクストのビジョンは、「企業成長を支えるインフラとして次世代の経営者をサポートし社会のイノベーションをLeadする」ですが、それらを実現するためには、品質管理が必要不可欠だと思います。監査法人は、例え営業が上手くても、それだけだと長期的には企業が離れていってしまうため、社会的な信頼を得ることが最も重要だと思います。高品質な監査を提供する監査法人として信頼を得ることで、ビジョンを実現していけると思っています。

志村：仰る通りですね。IPOを目指すうえで、クライアントが内部統制を構築していくことになりますが、わたしたち自身もクライアントをLeadできる存在である必要があると思っています。クライアントをLeadできるよう、高い品質の監査を提供することが大事だと思っています。



Q. お二人が品質管理という面で意識していることは何ですか?

真鍋：そもそも、「監査品質」には、はっきりとした定義はありませんが、意識していることは、先ほども言った通り「社会から信頼される監査法人となること」だと思っています。社会から求められる監査品質の水準はより一層上昇しており、その要求に応えていかないと社会からの信頼を勝ち取ることができないと思っています。そのため、前年度踏襲の監査に甘んじるのではなく、今社会から求められていることにアンテナを張って監査を行うことが重要です。ESネクストにこれから入ってくる若いメンバーも含め、社会から求められていることをしっかり発信していきたいと思っています。



Q. ファーストキャリアとしてIPO監査というキャリアを選ぶメリットはありますか?

真鍋：大企業を監査するチームに入ると、最初の数年、同じことしかできないこともありますが、IPO監査では、会計士として本当にいろんなことに関与できる点が魅力ですね。

志村：またIPO監査には、「上場するまでに変えていく」という前提があるので、高い目標に向かって会社と一緒に同じ方向を向いてやっていけることは、クライアントから前向きなエネルギーを貰えますし、勉強にもなりますね。

真鍋：受験生にはあまりイメージがないかもしれませんが、会計士は会計や監査のみならず、内部統制のプロフェッショナルでもあります。内部統制のスキルは、既に完成された内部統制をなぞるより、設立数期目の会社と議論しながら、内部統制を作っていく方が、より深く身につけられると思います。当然完成系のイメージは出来た方がいいですが、それは文献等に当たることで補うことができます。もう1つ、会計士として身につけておきたいスキルは、視野を広く持って、事実を客観的に捉える能力です。これも、会社が既に分析した結果をみて理解するのと、IPOを目指す若い会社と伴走しながら会社が置かれている様々な状況や会社自身のことを理解していくことができるのでは大きな違いがあると思います。

志村：そうですね。会計士のキャリアは多様ですが、IPO監査では、会社の仕組みを整えるところに携われるところが魅力ですね。また、IPO監査では、最先端のビジネスモデルをもつ幅広い分野のクライアントに関与することができますが、クライアントを理解するうえで、世の中のことを知るチャンスが多くあると思います。わたし自身もESネクストに来て、以前より早く成長できているのではないかと思います!

Interview

IPO達成クライアントの監査メンバーが語る、現場の舞台裏



IPO監査のリアル

苦労・成長・やりがいとは？

Q. IPO監査で大変だったこと・印象に残ったことは何ですか？

水町さん：やっぱり「開示」が大変でしたね。私は特に有価証券届出書を重点的にチェックしていましたが、初めての業務だったため苦労しました。ですが、インターネットで自分が確認した届出書を見た時は、「あぁ、この項目はたくさん議論したな」と感慨深くなりました。

村井さん：私も申請期の開示チェックが大変だったことを覚えています。J1からパートナーまで、監査チームメンバー全員で集まり、2週間で300件を超える質問や修正依頼のやりとりを行いましたが、当時は本当に一心不乱でした。クライアントも真剣で、後戻りできないという緊張感がありました。開示チェックを終えた後に、先方のCFOから「ここまでやっていただけると思わなかったです」と言っていただいた経験はとても印象に残っています。

清水さん：クライアントも相当大変なんですよね。お願いした資料がなかなか返ってこないこともありますが、私がそう思う時、クライアントの方も必死に対応して下さっています。先方は監査対応だけでなく、証券対応やIR準備にも追われているので、私達から見えにくい部分で大きな負担がかかっているんです。だからこそ、私たちの方が余裕あるのだということを自覚して、支えなければと思っていました。上場承認1週間前は毎日缶詰で会議でしたが、文化祭準備みたいでしたね(笑)。開示書類が出た際は、私も水町さんと同じで、書類を見ながら充実した気持ちになりましたね。クライアントからも感謝の言葉をいただき、この法人に入ってよかったなと改めて感じました。

城山さん：文化祭準備のイメージは伝わりやすいかもしれませんね(笑)
開示チェックも大変ですが、内部統制を一から構築していくことも、この仕事の醍醐味ですよね。IPO監査において、監査人は、上場企業水準の内部統制をクライアントが構築していくため、あるべき内部統制について上場準備期間を通じてお伝えしていくことが求められます。理想的なものを構築するため、監査人としても"正確な知識"が要求されます。事業内容、使われるシステム、人員規模など、各会社に様々な事情があり、その会社に合わせた内部統制のかたちを見つけることは大変ですが、だからこそ実力がつきますし、そういう地道なやり取りが良い思い出ですね。

Q. IPOクライアントに関わって成長した点はありますか?

城山さん：IPO監査では、クライアントも初めて経験することばかりなので、手探りで進めることも多いです。その中で、自分の発言が、会社が作成する資料の根幹を決めることもあります。より重い責任が伴う中で、会社にとって必要なことは何かを考え、学び、主体性を持って取り組むことで多くの学びがありました。

村井さん：仕事に対する責任感という観点は、私も成長できた部分であると考えています。上場申請時の開示資料は、膨大なページ数から構成され、そのすべてをパートナーが同じ粒度で細部まで確認できるものではないと思います。そのため、自身の担当ページで小さなミスを見落とした場合、そのまま世の中へ開示されてしまう可能性もあります。クライアントも初めての開示資料作成でミスが生じやすい中、そのような緊張感を味わうことができ、良い経験となりました。

清水さん：IPO監査では収益認識を始めとしてクライアントとあるべき会計方針を討議する機会が多々あります。基準を深く理解する必要があり、こちらも本気で学んでいかないと対応できません。だからこそ自然と勉強し、習熟度も上がります。前期調書を参考にできる上場企業監査と違い、クライアントの会計処理を必死に理解する必要があります。幅広い検討機会は、豊富な成長機会を意味していて、何事にも通ずると思いますが、"0から作る"ということは本当に勉強になります。

水町さん：私は証券会社のヒアリングやコンフォートレターの対応も含めて上場申請期ならではの実務を体験でき、貴重な経験となりました。教科書ベースの知識は理解していましたが、実際に体験したことでイメージをより強く持つことができ、知識が実になったと実感しました。今回の経験は今後IPOに関わっていく上で大きな財産になりました。

Q. IPO監査の魅力って何だと思いますか?

清水さん：やりがいを感じやすいところですね。クライアントからの相談が本当に多いので、感謝される場面も多くなります。また、二重責任の原則は当然ありますが、IPOに向けて会社が作成すべき資料は山ほどあり、監査人側と協議しながら作成が進んでいくものも多いので、そのような伴走に対して感謝される機会も多くあります。

村井さん：私はやはり、上場セレモニーでクライアントの笑顔を見られることですかね。監査に限らず、仕事をしている中で、お客様があんなに喜んでいる姿を見られることはなかなか無いと思いますし、その瞬間に私も頑張ってよかったなと思えました。

城山さん：そうですね。やはり自分の仕事が誰かの役に立つというのは嬉しいことですし、それを直接実感できるところが魅力だと思いますね。良い仕事をした分だけ、仕事のパートナーとして信頼してもらえるので、もっと頑張ろうと、モチベーション高く仕事できることもIPO監査の魅力かもしれません。



パートナー
城山 智之



マネージャー/5年目
清水 裕大



シニアスタッフ/4年目
村井 簾



シニアスタッフ/3年目
水町 和葵

Q. 就活生にメッセージをお願いします!

村井さん：IPOに関われる環境は貴重です。クライアントも監査チームも熱量高い方が集まる業界だと思いますので、意欲がある人、挑戦したい人にはぜひ飛び込んでほしいです。

清水さん：成長したい人、やりがいを感じたい人には向いていると思います。私自身、上場申請期の会社に関わらせてくださいと面談で伝えたことで、チームに入れた経験もあり、頑張る人をしっかり応援してくれる環境です。そのような人はレバレッジを利かせた成長ができると思っています。

水町さん：2年目でも任せてもらえる仕事が多いので、責任感を持って取り組める環境です。熱意のあるクライアントと一緒に歩んでいきたいという人は是非来てほしいです。

城山さん：ESネクストは、監査以外の経験をもつパートナーもたくさんいます。興味をもった分野について、いつでも聞けるというのは、本当に貴重な環境だと思います。主体的に動ける人なら、絶対に成長できます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております!



Interview

新サービス責任者から就活生へのメッセージ

ESネクストアドバイザリー株式会社

代表取締役　落合　誉

2026年7月に設立したESネクストアドバイザリーでは、主にM&Aにおけるトランザクションサービスを提供します。
2025年の東証グロース市場改革等の影響を受けて、企業経営者は、より高い成長可能性の実現を志向しています。そのためには、非連続な成長の手段として、M&Aによるロールアップ、逆に、大手企業の傘下に入るなどの選択肢も視野に入れています。

ESネクストアドバイザリーでは、買手企業サイドでの、FA（フィナンシャルアドバイザー）、財務DD（デューデリジェンス）、バリュエーション（企業価値算定）、PPA（無形資産の識別・評価）、PMI（M&A後の統合作業）をサービス提供し、買手企業の意思決定を支援します。
売手企業サイドでは、FA（フィナンシャルアドバイザー）として一気通貫して支援します。

監査と比較し、企業の将来を左右するような経営者の意思決定を、より直接的に支援することができる点が大きな魅力の業務です!

FAASグループリーダー

植木　健太

FAAS グループは、Financial Accounting Advisory Services の略称が示す通り、財務・会計領域における幅広いアドバイザリーサービスを提供します。
具体的には、自計化・会計制度整備支援、決算・開示支援、内部統制整備・運用支援、予算・事業計画策定支援、諸規程整備・運用支援、上場申請書類作成支援、上場審査対応支援等の未上場フェーズから IPO 後のフェーズまで幅広く柔軟にサポートします。
監査法人ならではの会計・監査の最新トレンドと IPO 実績に加え、事業会社・証券会社・コンサルティングファーム等での多様な経験を持つ ES ネクストのメンバーが、経営者に寄り添った支援を実現します。
会計士の専門性をフルに発揮しながら、クライアントの経営課題に真正面から向き合いたい人を、FAAS グループはお待ちしています!

リファーラルグループリーダー

脇崎　喜範

リファーラルグループのミッションは、国境を越えてビジネスを展開する企業の財務情報を、国際監査基準（ISA）に基づく確かな保証（Assurance）の信頼で支えることです。
具体的にお任せするのは、日本の企業が海外でビジネスを広げる際、連結財務諸表の一部を構成する海外子会社の財務諸表の監査を、現地の監査法人に指示する業務（リファーラルアウト）と、その真逆となる、海外の企業が日本でビジネスを行う際、日本子会社の財務諸表監査を行い、親会社の監査チームにレポートする業務（リファーラルイン）になります。
財務数字というフィルターを通してグローバルなビジネスを見てみたい人、会計士+αを考えている人、英語を活かしたスケールの大きい仕事がしたい人をお待ちしております。



IFRSグループリーダー

鈴木　数馬

2025 年の東証グロース市場改革等の影響を受けて、M&A による成長を志向する企業が増加しています。日本の会計基準では、のれんはその効果が及ぶ期間（最長 20 年）で償却する必要がありますが、のれんの償却費が営業利益を圧迫することから、のれん償却が強制されない IFRS（国際財務報告基準）を選択する企業が増加しています。

当法人では、IFRS を選択する監査クライアントは監査を通じて、監査クライアントではない場合にはアドバイザリー業務を通じて、企業を支援する体制を構築しています。

IFRS を採用する企業は、一定規模があり、また、M&A という「非日常的な」事象が発生することから、案件に関与することで貴重な経験を積むことができるのが魅力です。IFRS は世界 140 以上の国と地域で適用されている事実上の世界共通の会計基準であり、将来の選択肢を増やす、他の会計士との差別化など、動機は色々あると思いますが、前向きに取り組んでいただける人を期待しています。

One Day of ES Next

ESネクストの1日に密着!



まずはMさんです!

彼は普段から明るく、3期生の癒しキャラです。
休憩時間には、オフィスで楽しそうに雑談している姿をよく見かけます。
そんなMさんの一日に密着してみました!

TimeSchedule

- 9:25　出勤
- 9:30　業務開始
- 11:30　ランチ休憩
- 12:30　業務再開
- 15:00　社内MTG
- 18:30　退勤
- 19:00　部活動

9:30　業務開始



オフィス内はフリーアドレス。
ESネクストでは、1年目は原則出社で、経験のある先輩のとなりで作業するため、わからないことがあれば気軽に質問することができます。
この日は先輩スタッフとコミュニケーションをとりながら仕事をしていたようです!

11:30　ランチ休憩



ESネクストには月に1度3,000円までランチ代の補助を受けられる「おしゃれランチサポート」という福利厚生があります。
普段はなかなか行けないお店で同期や先輩と美味しいものを食べることが毎月の楽しみです!

19:00　フットサル



ESネクストでは部活動も盛んです!
フットサル部だけでなく、テニス部やゴルフ部など、様々な部活動に参加することができます!
みんなでスポーツをすることで、心も身体もリフレッシュできます!



続いてOさんです!

彼女は3期生の中で一番のしっかり者。
法人内での信頼も厚く、本当に頼りになる存在です!
そんなOさんはどんな一日を過ごしているのか見てみましょう!

TimeSchedule

- 9:20　出勤
- 9:30　業務開始
- 10:00　社内MTG
- 12:30　ランチ休憩
- 13:30　移動
- 14:00　往査
- 17:30　往査終了
- 18:00　懇親会

10:00　社内MTG



今日は午前中からMTGです!
ESネクストでは3年目から主査を任せられ、MTGを進行する立場となってきます。また、パートナーの方と会計論点について議論する場面も増えます。幅広い業務を早い年次から経験できるため、本当に恵まれている環境だと話をしてくれました!

14:00　クライアントに往査



オフィス内ではカジュアルな服装の方が多いですが、往査にはフォーマルな服装で向かいます!
往査では実査などの監査手続を行う過程で、クライアントの方と直接コミュニケーションをとる機会もあるため、監査人として多くの経験を積むことができます!

18:00　懇親会



往査終わりにそのまま懇親会に行くこともあります!この日はパートナー含め、合計4人でお寿司を食べに行ったようです!
様々な経歴を持ったパートナーの方々と話す機会が非常に多いこともESネクストの魅力だと思います!

【ESネクスト 新パートナー インタビュー】

Masaya Shinohara

Interview

20代でESネクストのパートナーに就任した篠原さんに、これまでの歩みや仕事への向き合い方について質問しました。



01

篠原 将哉（パートナー）

Q. 篠原さんのこれまでのキャリアと、成長につながった経験について教えてください。

私は2019年に大手監査法人へ入社し、修了考査を経て、2022年8月にシニアスタッフとしてESネクストへ入社しました。
当時は設立直後でマネージャーの数が少なかったため、早速パートナー直下の主査として複数のエンゲージメントに関与しました。最初はとても苦労しましたが、責任感を持って主体的に業務に従事したことが成長に繋がったと思っています。
その後、2024年1月にマネージャーに昇格しました。早い昇格であったため、自らの能力を急速に伸ばす必要があり、業務時間後や休日に専門書を読み込んでいました。
そのような中、念願であったクライアントのIPO達成にも立ち会うことができました。IPO監査では、限られたリソースの中で多くの課題を解決していく必要があり、苦労もありましたが、その分マネージャーとして大きく成長することができました。

Q. 篠原さんは20代とのことで、その若さでパートナーに就任されたと聞くと驚く就活生も多いと思います。これまでどのような意識で仕事に取り組まれてきたのでしょうか。

一つ挙げるとすれば、常に自分が一つ上の職階だったらどう動くべきかを強く意識し、難しい業務に積極的に手を挙げるようにしていました。
有難いことにパートナーがいつも近くで指導してくれたので、失敗も多くありましたが、パートナーに必要な素養を早期に磨くことができたと思います。

Q. ESネクストでは、篠原さんに引き続き若くしてパートナーに昇進できるチャンスがあるのでしょうか。また、どのような人にその可能性があると思いますか?

チャンスは十分にあると思います。ESネクストには、挑戦する人を応援する風土が強く根付いていますし、パートナーとの距離も近く、すぐに相談することができます。まだ人数が少ないこともあり、年次を問わず活躍した人がしっかりと認識され評価される法人だと思います。
信念を持って仕事に取り組み、周囲の信頼を積み上げていけば、若くてもパートナーになるチャンスは大いにあると思います。

Q. 最後に、早く成長したい、若いうちから積極的に挑戦したいと考えている就活生へメッセージをお願いします。

誤解を恐れずに言うと、ESネクストに入ったからといって必ず成長できるわけではないと思います。逆に、主体的に行動し、謙虚に努力を続けられる人であれば、どんな環境でも成長することができると思います。
ただこれまで話した通り、ESネクストには、挑戦する人を応援する風土があるため、手を挙げれば挙げるほど、どんどん成長していくことができる法人です。
まだまだ成長途上の法人ですので、自分がESネクストを成長させるくらいの熱い想いを持った方と一緒に働けることを楽しみにしています!



【ESネクスト 5期生 インタビュー】

Takeru Daikohara

Q. 就活する上で重視した点を教えてください。

早く成長できる点と多くの経験ができる点を重視しました。
ESネクストでは早くて2年目から主査を経験できるので成長速度が早く、またクライアントの業種が多種多様なので多くの経験ができます。

Q. ESネクストへ入所を決めた理由を教えてください。

自分の将来像とマッチしていると考えたからです。
私はスタートアップのCFOを目指しています。ESネクストはCEOやCFOの方とお話しできる機会が多いと伺っていたため、入所を決めました。

02

大小原 健留（5期生 ジュニアスタッフ）



Q. やはり他の法人と悩みましたか?

直前まで大手と悩みました。しかし、**将来CFOとして企業成長に関わりたい中で、IPO監査に携われる点や成長速度の速さ**を踏まえると、ESネクストが最適であると判断しました。

Genta Tanaka

Q. 就活する上で重視した点を教えてください。

私が就職活動で重視していたのは、IPOやアドバイザリーといった企業の成長を支える業務に携われるかどうか、**そして早い段階から多様な業務経験を積む**ことができるかという点です。



03

田中 元太（5期生 ジュニアスタッフ）

Q. 同期として入所した5期生の雰囲気はどうですか?

成長意欲の高い人が多く、多様な価値観に触れられる点に大きな魅力を感じています。また、同期全員が非常に話しやすく、業務外でも良好な関係を築けています。

Q. IPO中心の監査法人という点ついて、不安はありませんでしたか?

不安はありませんでした。特定の強みを持たないまま幅広く業務をこなす状態にとどまる方が、市場価値を高める上では課題であり、何かに特化する必要があると考えていたためです。

【ESネクスト 先輩 インタビュー】

Nana Kashiwagi

04

柏木 奈々

4期生 ジュニアスタッフ



Q 柏木さんがESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

ESネクストに入所を決めた理由は
●**IPO監査を中心に関与したいという思いがあったから**
●**元々スタートアップ企業の支援をする仕事に興味があったから**
●**自分が働いている姿が想像できたから**
という3点です。

Q IPO中心監査法人への就職に不安はありませんでしたか。

不安はありませんでした。
会計士という資格があれば、多様なキャリアを選択することができると思いますし、「スタートアップ企業の支援をする」という自分の思いを形にできる法人だと思いました。

Q 仕事をしていて、成長を感じた瞬間、楽しさを感じた瞬間はありますか。

日々考えながら業務を進めているときに成長を感じています。難しい論点について、自分で考えて結論を出すことができたときや、経営者ディスカッションへ参加して様々な業界の話を伺うことができたときは、とても勉強になり楽しいです。

Tatsuya Miyake

05

三宅 達也

4期生 ジュニアスタッフ



Q 三宅さんがESネクストへ入所を決めた理由を教えてください。

就活時、リクルーターの方に"One of Themよりonly oneにならないか" という言葉をかけられ、入所への気持ちが固まりました。
友人や先輩が大手監査法人を選ぶという環境で、自分でもそれが当たり前だと思っていましたが、個別面談を通じて徐々に心が変わりました。

Q 今年 J2 になりましたが、J1 の頃と変化したことはありますか?

昨年まで学生非常勤だったので担当する社数は限定的でしたが、今年から常勤になり、担当社数が大幅に増えました。エネルギー業界からサービス業まで様々なクライアントに触れることができ、**多様な分野の知識を吸収する毎日を過ごしています。**

Q 仕事をしていて、やりがいや楽しさを感じるのはどんなときですか?

大手に比べESは監査先の規模が小さく管理体制が未整備な場合も多いです。
そのような状況の会社に対し、**会計士として指導的役割を発揮しながら監査できる点がESで働く楽しさです。**

Yuya Takatsuki

06

高槻 佑弥

3期生 シニアスタッフ



Q 高槻さんがESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

自らがより成長できる場だと考えたからです。
ファーストキャリアにおける経験が重要であると考えていたため、監査チームのメンバーが少なく、J1から多様な科目の監査に関与することができるESネクストに魅力を感じました。

Q IPO中心監査法人への就職に不安はありませんでしたか。

不安は特にありませんでした。
ESネクストでも上場企業の監査に関与することは可能ですし、IPO監査に強みを持ち、キャリア選択の幅を広げていきたいと思ったからです。

Q 高槻さんは今年 S1 になりましたが、J2 のころと変化したことはありますか。

大きな変化は、調書の作成過程において**検討余地の多い科目調書**を任せてもらえることが増えたことです。難しいですが、だからこその**やりがい**も感じています。

Yua Kojima

07

小島 由愛

2期生 公認会計士 シニアスタッフ



Q ESネクストに入所を決めた理由を教えてください。

決め手は、
●**IPO監査がやりたかった**
●**法人の雰囲気が自分に合っていると感じた**
●**急成長する監査法人を一番近いところで見てみたかった**
という3点です。

Q やはり上場監査と IPO 監査で身につく能力は異なるのでしょうか。

IPO監査は指導的機能の発揮がとても重要になるので、より**クライアントに寄り添う力やコミュニケーション能力**が身につくと思います。
上場監査では、IPO監査よりもスケジュールがタイトになるため、その管理能力がより求められるかと思います。

Q 3年ほど勤務されている中で、やりがいを感じた瞬間を教えてください。

担当クライアントの上場セレモニーを間近で見るという貴重な体験ができた際、やりがいを感じました。
期末監査と上場時期が重なるなど忙しい時期もありましたが、監査チームの雰囲気もよく、繁忙期を乗り越えることができました。

5期生アンケート

2026年2月に入所した
5期生が答えました!



Q 将来目指すキャリアは?

1位 独立・起業

2位 CFO

3位 パートナー



Q 最終的にESを選んだ理由は?

雰囲気やフィーリングがあったから!

経営者との距離が近いと思ったから!

早くから成長できる環境だから!

IPO監査に興味があったから!



Q ESに入って驚いたことは?

- 自由度が高い
- 先輩方のレベルの高さ

- 雰囲気の良さ
- パートナーの方々の腰が低いこと、また距離の近さ



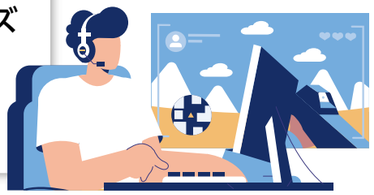


Q 初任給は何に使った?

- 飲み代
- 家族との食事
- ゲーム等趣味のグッズ
- スーツ
- 調理家電









Q みんなの出身地を教えて!

各地のお土産をもらえたり、おすすめの観光地や美味しいグルメを教えてもらえたりします!



北京

山梨

大阪

京都

群馬

広島

千葉

東京

沖縄

香川

関東、関西圏だけでなく、北海道、沖縄、広島など全国各地の出身者がいます!



新人研修

ESネクストの新人研修は3週間すべて対面で実施されます。
研修内容は監査実務・会計実務・IPOの基礎・ExcelなどのPCスキル・ビジネスマナーなど多岐にわたります。





対面での研修は講師に質問がしやすい、同期とのディスカッションの機会が多く仲が深まりやすいなど新人にとても好評です!研修の目玉は「クライアント説明」です。この研修では自分が関与するクライアントについて担当パートナーから直接説明を受け、それをもとにそのクライアントのビジネスモデルや監査上のポイントについて1人1人プレゼンを実施します。ESネクストでは新人のうちから経営者ディスカッションや会社とのミーティングなど人前で話す機会が多いので、この研修は良い訓練になります!

年次研修

毎年の成長段階に合わせた年次研修を実施しています。会計・監査等の基礎から応用的な論点まで、各年次で必要となる知識やスキルを体系的に学ぶことができます。

さらに、最新の監査基準・法令改正・事例分析などもタイムリーに取り上げ、実務に直結する知識を習得。継続的に学び続けられる環境が整っており、安心して専門性を高めることができます。







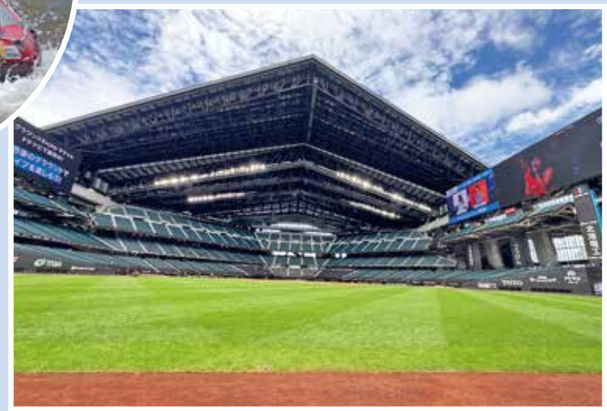
宿泊研修

ESネクストでは年に1回全職員が参加する宿泊研修があります。
これまで軽井沢、那須塩原、北海道へ行きました!

1日目は全体研修と懇親会が行われ、2日目はアクティビティを通して懇親を深めます。
ゴルフ・ラフティング・カーリング・謎解きなど、その年によって変わるアクティビティは毎年大好評です!







成長できる環境

ESネクストには
会計士としても社会人としても
成長できる環境があります！



日々のOJT

ESネクストではスタッフは原則出社と定められており、
オフィスでは先輩の近くで教えてもらいながら仕事を進めます。

1人1人の顔と名前が一致するくらいの規模感だからこそパートナーもスタッフに気を配ってくださり、直接相談できる機会も多いです。

わからないことがあったときに気軽に質問できる先輩が近くにいる環境は早期成長につながります!





部活動紹介

Club activities

多くの職員の仕事終わりの楽しみとなっている
ESネクストの部活動を紹介します!

ゴルフ部

ESネクストでは若手職員にもゴルフをする人が多く、社内コンペはとても盛り上がります!社会人になってからでも始めやすいスポーツなので一緒に楽しみましょう!



テニス部

月に1回程度コートを借りて練習や試合を楽しんでいます。部内に貸し出し用のラケットもあるので初心者の入部も大歓迎です!



野球部

月に1回程度バッティングセンターやグラウンドで練習しています。対外試合を目指して部員を募集中です!



バスケットボール部

新たにバスケ部が発足しました!身体を動かしてリフレッシュしたい方にピッタリの部活動です。
初心者大歓迎ですので、ぜひ一緒にプレーしましょう!



フットサル部

月に1回程度オフィス近辺のコートで練習しています。有志で外部の大会にも参加するなど積極的に活動している部活です!



文化芸術部

月に一回ほど美術館で展覧会を鑑賞し、鑑賞後は交流会も実施するなど、楽しく活発に活動している部活です!





NewESとは?

次世代を担う(女性)職員がやりがいをもって働ける組織づくりを目指して2023年に発足した組織です。月に1度のランチミーティングを中心に活動し、仕事とライフイベントやプライベートとを両立するための仕組みづくりやより良い職場環境の構築などについて考えています。



NewES

～Next generation (of Women) Enjoy with ES Next～



毎月の活動

月に1回ランチミーティングを実施しています。テーマについてディスカッションをしながら懇親を深めることができます。ミーティングしながら食べるお弁当にも毎月こだわっています!



講演会

年に数回講演会を主催しています。これまでには育児と仕事を両立するパート ナーの働き方についての講演会や外部経営者を呼んでの講演会、産業医による健康に関する講演会を実施しました。

活動実績

- 育児との両立支援制度の考案
- 講演会の主催
- 女性向けリクルートイベントの企画・実施
- リクルート用ノベルティの考案・作成
- 法人ホームページに対談記事掲載

自分たちの意見が法人の制度などに反映されることも多く、とてもやりがいがあります!